



天橋立名松リバーズ だより

5月14日(日)

「天橋立名松・文殊菩薩」奉納式 盛大に開催(智恩寺於)

天橋立名松リバーズの呼びかけに応え、京都伝統工芸専門学校(南丹市園部町)の学生さんたちが、松の再生と被災者の鎮魂に願いを込め、昨年6月の松材搬入から約一年間、心を込め「天橋立名松・文殊菩薩」制作に取り組みしてきました。「ヤニが出る」「木が硬い」など多くの困難を乗り越え、磨かれた伝統技術に心を込めて、見事に完成されました。



山門より無相堂まで奉納行列



除幕式



5月14日当日、心配されていた雨も上がり、智恩寺無相堂前に於いて、智恩寺・京都伝統工芸専門学校・智恩寺檀徒会・文殊自治会・天橋立文殊繁栄会・裏千家淡交会宮津支部など関係者150人の参加の下、奉納式が行われました。

午前10時より、京都伝統工芸専門学校 新谷理事長・松村校長・須藤教授を初め、学生60人のみなさんが山門より無相堂までしずしずと奉納行列をされました。10時30分より奉納式が開始され、除幕式には京都府知事代理 辻本商工部長・宮津市 徳田市長・京都府議会 多賀議員・智恩寺 萩原住職・京都伝統工芸専門学校 新谷理事長・天橋立を守る会 森会長・京都府仏具協同組合 若林理事長のみなさんの手で「天橋立名松・文殊菩薩」が披露されました。智恩寺 萩原住職を初め、三人のご住職の法要のあと、同住職より、京都伝統工芸専門学校 松村校長先生へ感謝状と記念品が授与されました。それを受けて須藤教授から製作意図についてお話を聞きしました。学生さん達の製作に



No. 15
2006年8月号

編集・発行

天橋立名松リバーズ
新委員会事務局



ご住職の方々による法要



無相堂に安置



奉納式のもよう



台風23号犠牲者の方々の名前が
胎内に納められました

〒626-0001
京都府宮津市文殊437
TEL 0772(22)53004
FAX 0772(22)53005
http://www.tango.or.jp/rebirth/

かける並々ならぬ想いが会場の多くの人達の心を打ちました。ご来賓として京都府知事代理 辻本商工部長・地元 宮津市徳田市長・京都府議会 多賀議員・京都伝統工芸専門学校 新谷理事長から、それぞれ心のこもったお言葉を頂きました。

その後、智恩寺住職による法話、最後に天橋立名松リバーズ実行委員会 幾世委員長よりお礼の言葉で閉会となりました。当日、智恩寺檀徒会婦人部のみなさんによる花まつり、裏千家淡交会のみなさんによるお祝いのお茶席、幾世大郎氏による琴の生演奏など、多くの方々のご協力を得、厳粛な内に盛大な奉納式となりました。

京都伝統工芸専門学校のみなさん、ご苦労が多かった事と思えますが、本当に素敵な「名松・文殊菩薩」をありがとうございました。



京都伝統工芸専門学校
松村校長先生に感謝状の授与





表千家流交会宮津支部
のみなさんによるお茶席



幾世実行委員長の謝辞



幾世六郎氏による
お琴の生演奏



須藤教授から
製作についてのお話



萩原住職さんによる法話



京都伝統工芸専門学校
新谷理事長



京都府知事代理
辻本商工部長



京都府議会
多賀議員



宮津市 徳田市長

宮津 新聞 南丹 2006年(平成18年)4月27日(木曜日)

台風被害 天橋立の松

一昨年10月の台風23号で倒れた日本三嶽・天橋立(宮津市)の松を使い、仏像彫刻を学ぶ京都伝統工芸専門学校(南丹市)の生徒約60人が、文殊菩薩像を製作した。獅子の背に鎮座する姿で高さ約2・5m。台風の犠牲者の鎮魂の思いを込め、5月14日に天橋立近くの智恵寺に納める。台風23号では樹齢200年、300年のアカマツやクロマツ計約1000本が倒れた。松の再生策を進める住民グループ「天橋立名松リバース実行委員会」の取り組みに学生らが共感、昨年9月から原木4本と平板15枚で、同寺本願の文殊菩薩像を手本に彫り始めた。おたやかな表情の仏像は

南丹の専門学校生ら 来月14日納

奇せ木造り。全編がのみと彫刻刀を握るのは初めてで、硬い素材に苦闘した。七つのパーツの粗削りから開始。レンゲを持つ手や顔の表情など数回点による部分に細工を加え、ウルシで古色風に仕上げた。レンゲの葉には一人ひとりが樹で「愛と平和」なぞと願い事を記した。指導する須藤光昭教授(60)は「種があつて松が仏に生まれ変わった。想像以上に立派」と評価。桜井裕平さん(19)は「多くの人が拜んでくれるような存在になつてほしい」と願う。同実行委の山本大八朗事務局長(57)は「若い学生の真摯な取り組みに感謝している」と話している。

倒木生かし 文殊菩薩像



台風で倒れた天橋立の松を使って彫られた文殊菩薩像(南丹市南丹町で)

2006年4月27日 読売新聞掲載(縮小)

2006年5月15日 京都新聞掲載(縮小)

台風で倒れた天橋立の松、再生

宮津の智恩寺



奉納された文殊菩薩像 (宮津市文珠・智恩寺無相堂)

宮津市文珠の智恩寺で十四日、一昨年の台風23号で倒れた天橋立の松を利用して文殊菩薩像の奉納式が行われ、制作した京都伝統工芸専門学校の生徒や関係者約百五十人が名松の再生を祝った。

台風被災者鎮魂の法要が営まれ、来賓があいさつ。智恩寺の森脇頼土住職が文殊菩薩の由来を説明し「携わった皆さんの心が形になってこの場所に収まった」と話した。最後に幾世委員長が「松材の加工はヤニや固さなど苦労が多かったと思うが、立派に仕上げた頂きありがとうございます」と感謝の言葉を述べた。

制作の
学生ら
見守り感慨深げ

文殊菩薩像を奉納



完成した文殊菩薩像を見つめる学生たち
(南丹市園部町小山東町・京都伝統工芸専門学校)

京都伝統工芸専門学校(南丹市園部町小山東町)の学生たちが、二〇〇四年十月の台風23号で倒れた天橋立(宮津市)の松を活用し、昨秋からコツコツと制作してきた文殊菩薩像がこのほど完成。五月中旬に天橋立近くの智恩寺(宮津市)に納められることになった。学生たちは「地元の人々の心の支えとなり、ずっと親しまれる存在になってほしい」と願っている。

菩薩像の制作は、台風で倒れた松の再生に取り組み宮津市の住民グループ「天橋立名松リパース実行委員会」(幾世淳紀委員長)の活動と同校が知り、学生たちが「災害犠牲者の鎮魂に」と申し出て始まった。学生たちは仏像彫刻専攻の約六十人で、昨年六月に現地を訪れ、材料となる松の原木を選び、同月頃から作業に取りかかった。放課後や夏休みを利用して、仏像の胴体や顔、台座、獅子、光背などの各部ごとに半年かけて仕上げた。

完成した文殊菩薩像は、高さ約二・五メートル、奥行き約一・六メートル。智恩寺本尊の文殊菩薩像がモデルで、古木の味わいを生かし、ウルシでわざと古びた色合いに仕上げるなど意匠を凝らした。制作にあたった同校二年の鈴木慎一さん(宮津市)は「木が堅く、作業は大変だったが、一心不乱に彫り続けた。よくここまでできたと思う」と感慨深げだ。幾世委員長(宮津市)は「学生たちが伝統技術を生かし、倒木に新しい命を吹き込んでくれ、本当にうれしい」と話している。

台風23号で倒木、天橋立の松 文殊菩薩像で復活

南丹の専門
学校生制作 智恩寺に奉納へ

文殊菩薩像は、五月三日に同市園部町で開かれる「そのべ龍神まつり」で披露された後、十四日に智恩寺へ奉納される。

2006年5月15日 朝日新聞掲載(縮小)

2006年(平成18年)5月15日 月曜日



天橋立で台風被害

倒木松で 文殊像

南丹の学生制作

智恩寺に奉納

「昨年10月の台風23号で倒れた天橋立(宮津市)の松で「名松天橋立・文殊菩薩像」が造られ、14日にモデルになった本尊のある智恩寺(同市文殊)に奉納された。被災者の鎮魂と倒木松193本の再生を願う市民団体「天橋立名松リバイス実行委員会」が京都伝統工芸専門学校(南丹市)に制作を呼びかけ、仏像彫刻専攻の学生約30人が約1年かけて完成させた。

運搬に運んだ文殊菩薩 約2・5尺、幅約1尺、獅子の乗った案で高さ 智恩寺にある本尊の約2

倍の大きさを、約15立方尺の松を使ったが、杉に比べて木が堅くヤニが出る。制作は難航したが、伝統工芸士で同専門学校の前校長が指導した。学生たちは、蓮華の葉の裏などに「世界平和」「家内安全」などの文字を彫りこみ入れた。バスで山門前まで運び、同校1、2年生計55人が分解して搬入した。安置された本堂横の無相堂の前で奉納式があり、約150人の参列者前に萩原順士住職は「心のこもった作品で未だ大事にしたい」と謝辞を述べた。

天橋立の倒木松で制作され、智恩寺に奉納された文殊菩薩像。宮津市の智恩寺で



完成した「天橋立名松・文殊菩薩像」。宮津市の智恩寺で

京都伝統工芸専門学校生ら製作 宮津・智恩寺に奉納

04年秋の台風23号で倒れた天橋立(宮津市)の松の木を利用して、京都伝統工芸専門学校(南丹市岡部町)の学生らが製作に取り組んでいた「天橋立名松・文殊菩薩(ぼさつ)像」が完成し14日、天橋立近くの智恩寺(萩原順士住職)で奉納式が催された。【瓜生典一】

台風後、倒木の再利用が感じられ、表情も穏やかに仕上がっている。関係者や市民らが「天橋立寺境内の施設に安置された名松リバイス実行委員会」を組織し、アイデアを募集していた。これを開いた同校の仏像彫刻専攻の学生らが、智恩寺の本尊・文殊菩薩にちなんだ仏像作りを提案。実行委が提供した製材木を使って約50人が昨年9月から作業に当たってきた。寄せ木造りの手法で完成した文殊菩薩は、獅子、台座などを含め高さ約2・7尺、幅約0・8尺、奥行き約1・5尺。細部何よりうれしい」と話しにわたり手彫りの温かさを感ずっている。

天橋立の倒木、菩薩像に

台風で倒れた松の大木を、何かの形で残したい。 その想いをTASK生が、受け取りました。

2004年10月、天橋立を直撃した台風が193本の松を倒しました。この名松を復活させようと立ち上がったのが「天橋立名松リバース委員会」。本校は同委員会から創作協力の依頼を受け、仏像彫刻専攻須藤先生の発案により、文殊菩薩像を制作して地元にお返しすることになりました。



1 材料選び 材料となったのは、原木4本と製材された平板15枚、本校仏像彫刻専攻の学生が現地へ訪れ、1本1本に目を凝らして選びました。



2 材料の選別 乾燥させた材料を、つくる文殊菩薩像の形、大きさに合わせて貼り合わせる作業。仏像は本体、台座、光背で構成され、それぞれを学生が分担当して進めました。



完成した文殊菩薩像を囲んで、本校仏像彫刻専攻の約60名が制作にたずさわりました。写真中央が、この像の制作を発案した須藤先生。



3 彫刻

仏像の形を大まかに出していく彫刻の作業が始まったのは2005年10月。授業時間も使いながら、仏像彫刻専攻の学生全員で取り組めました。

4 完成

木材の乾燥などによるゆがみなど、細かな調整をしながら、2006年2月にすべての彫刻が終了。高さ2.5mと堂々とした文殊菩薩像が完成しました。

2006年5月
京都府宮津市
「智恵寺」に寄贈
ぜひ拝観され、
実際の仏像をご覧ください。



胎内に犠牲者名納め

台風倒木で文殊菩薩像

日本三文殊の一つ、雄「天橋立」の文殊菩薩像。倒れた樹木が納められていた。
 宮津市・妙心寺派智恩寺(秋「像」と名づけられた)の。
 原土住職、京都府宮津市。仏像は、境内の無明堂に。当日は、無明堂前で除
 市文殊)に十四日、一昨。安齋、文殊菩薩、獅子の。舞式など奉納式典が行な
 年十月の台風23号で倒れ、倒木も松材の寄せ木造り。指導にあたった同
 天橋立の松材を使って。約二・五、左手に経巻。学生、地元関係者らが出
 彫られた文殊菩薩像。約二・五、左手に経巻。学生、地元関係者らが出
 が奉納された。京都伝統。を載せた運を持つ。定冠。馬。また、台風の犠牲者
 工芸専門学校(新井秀一。や自磨りなど一部に金箔。彫像と松の再生を祈願す
 理事長、京都府南丹市)を彫ったほかは本地の肌。る法要が在任住職の導師
 で仏像彫刻を専攻する学。合いをして、本堂で古。で営まれた。
 生が、地元復興の力に。色仕上げを施した。写。地などで復興に取り組み
 になりたいと、約半年をか。興。文殊菩薩の胎内には。天橋立の松材を奉納す
 けて完成させた。台風犠牲者の名前が書か。委員会が後世に伝えます

天橋立の台風23号風倒松使う



は「心を込めて制作して、新井理事長は「三人、一友、新井住職は「若
 くれた学生さんの思いに、寄れば文殊の知恵とい。者の思いと努力の結晶と
 広げられるよう、松の香。う。この仏像は力を合。いえるこの仏像から、心
 りが豊かにならな。して。せることの大切さの証明。の大切さを学んでもらえ
 いきたい」と感謝の意。だ」と喜んだ。たら」と語っている。

宮津市・妙心寺派智恩寺に奉納

お知らせ情報！

お知らせ情報 その①

「天橋立公園の松並木と利用を考える会」よ
 り、「松の保護から松並木の適正な管理へ、そし
 て文化遺産としての価値を高め未来へと継承
 するために」との思いで、報告書が出版されり
 パーパスにも届きました。この利用を考える会では、
 京都府土木建築部公園緑地課が主催し、京都京
 都嵯峨芸大教授を座長に11名の委員で構成さ
 れ、リパーパス関係から伊藤武京都樹木医会長・
 天橋立を守る会 森会長・リパーパス幾世委員長
 も委員になり、検討してきた報告書です。

ご希望者は、リパーパス事務局へ「一報くださ
 い。尚、この報告書を受け、この会は天橋立公
 園継承準
 情委員会
 (仮称)
 として今
 後も継承
 される予
 定です。



お知らせ情報 その②

「丹後広域観
 光キャンパイン協
 議会」より、こ
 のたび丹後の情
 報誌として「食
 遊楽里」(くゆ
 らり)が発刊さ
 れました。
 リパーパス関係
 も紹介されてい
 ますので、関心
 のある方はリパ
 ーパス事務局へど
 うぞ!



「食遊楽里」の表紙



2ページにわたって掲載

■ 4月16日(日)

木曾福島(長野県)の松と交流

4月16日(日) 木曾町4公民館記念大会が、木曾福島開館で開催され、リパースに案内があり視察交流に行っていました。

木曾町 田中勝己町長や、同町工会 津田会頭たちも3月6日天橋立を訪れ、リパースと交流会を持った後でしたので、田中町長も大変喜んでおられました。当日、画家 王子江氏の講演や絵を描くパフォーマンスがありました。天橋立の松・木曾の松・屋久島の松、そして北大のポプラとネットワークが固く結ばれていくといいですね。



■ 4月18日(火)

宮津ロータリークラブ例会でリパース報告



於 ホテル天橋立

宮津ロータリークラブからの要請があり、4月18日ロータリークラブの例会(天橋立ホテル)で、「松とともに生きる」名松リパース運動を導いて学んだこと」をテーマに、幾世委員長が出席しお話をしました。会場で「名松リパース中間報告書」の販売に、多くの会員のみなさんからご協力をいただきました。

■ 5月3日(水)

南丹市にて、天橋立名松リパースの報告

5月3日(水) 京都府南丹市の国際交流会館コスモホールで開催された、京都伝統工芸専門学校(天橋立)「文殊菩薩像」公開展に幾世委員長・松井副委員長が出席し、名松リパース活動の報告をさせていただきました。「名松リパース中間報告書」の販売に、多くのみなさんからご協力をいただきました。



南丹市 国際交流会館
コスモホール 於

■ 5月18日(木)～21日(日)

屋久島(鹿児島)の屋久杉と交流

5月18日(木)～21日(日)、屋久杉の森を守り、屋久島を「世界自然遺産」へ導いた立役者のひとり、柴 鐵生さんや、画家 王子江さんのお誘いもあり、屋久島へ行ってきました。



屋久杉の原生林を、裸足で歩く…

お二人とも当地へ2回お越しになり、リパースメンバーとも交流会を持っています。今回、王さんは屋久杉を描くために初めて訪ねられたのですが、幾世委員長・松井副委員長も同行させていただきました。



柴さんのご案内で屋久島を一周しましたが、庄巻は瀬切川上流域の聖地への立ち入りでした。三千年を超え



王子江さん

る屋久杉に抱かれる居心地は最高でした。又、「屋久杉自然館」にも寄り、館長からいろいろお話をいただきましたが、天橋立内にも官民一体となって、みんな汗と知恵を集結した自然館ができればとの思いを強くしました。



お客様に、その日漁をした魚を料理される柴鐵生さん

■ 5月18日(木)

宮津ライオンズクラブ例会でリパース報告

宮津ライオンズクラブからの要請があり、5月18日ライオンズクラブの例会で「名松リパースの歩みと今後の展開」をテーマに、細井副委員長が講演をさせていただきました。会場で「名松リパース中間報告書」の販売に、多くの会員のみなさんからご協力をいただきました。

■ 6月13日(火)

平成18年度 天橋立を守る会 総会 盛大に開催!

去る6月13日(火)午後4時より、天橋立ホテルを会場に、平成18年度の総会が40名の会員が参加の下、宮津市長をはじめ来賓12名の方々をお迎えして盛大に開催されました。

平成17年度の事業報告と決算が承認され、18年度の事業計画と天橋立名松リバーズ事業への協賛金(15万円)を盛り込んだ収支予算案が満場一致で認められ、1年間の天橋立を守る会としての活動の内容が決定されました。特にその中で、天橋立名松リバーズ実行委員会が発足後2年近くを経過し、一定の役割を果たす中、さらに今後の取組み(作品公募・リバーズ基金等)を継続していく上で、



天橋立ホテル 於

天橋立を守る会とのNPO法人組織への発展的統合に向けて検討していく旨、守る会の幾世副会長より特別発言がありました。双方から専門委員(坂称)を出し、許可のための準備作業を進めることを確認する内容でした。

■ 6月22日(木)

天橋立の環境保全シンポジウム開催

6月22日(木)午後4時より、京都府立大に於いて、農学研究科森林科学科と人間環境学部環境デザイン学科の第2回合同シンポジウム「天橋立、美しい景観を次の世代へ」が開催されました。

天橋立の景観 保全でシンポ

府立大で22日

京都府立大(京都市左京区)は二十二日午後四時から、農学研究科森林科学科と人間環境学部環境デザイン学科の第二回合同シンポジウム「天橋立、美しい景観を次の世代へ」を府立大合同講義棟で開催する。日本三景・天橋立(宮津市)の景

観保全について、京都府土木建築部の担当者が松枯れ対策などこれまでの取り組みや今後の課題について報告。池田武文教授、深町加津枝助教からの問題提起を受け、周辺地域も含めた保全管理の在り方と活用の方角性について意見交換する。当日受け付けで無料。問い合わせは府立大8075(703)5101へ。

2006年6月17日 京都新聞掲載(縮小)

■ 6月22日(木)

京都商工会議所 産業振興部の みなさん33名と交流

6月22日(木)京都商工会議所 産業振興部のメンバー33人が、「環境月間行事」の一環として当地を訪れ、天橋立名松リバーズ実行委員会と交流しました。幾世委員長・稲葉副委員長がお迎えし、「天橋立の名松を次代に引き継ごう」をテーマに名松リバーズの取り組みをお話し、その後意見交換会を持ちました。みなさん、環境問題に熱心に取り組んでおられる方ばかりで、リバーズ活動に強い関心を持っていただきました。



京都商工会議所のみなさん

京都商工会議所 小堀専務理事さまより、次のような丁寧なお礼状をいただきました。

天橋立名松リバーズ実行委員会様

御礼

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当所事業運営につき、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、過日開催いたしました当商工会議所「環境月間行事 見学会」に際しましては、業務極めて多忙中にも拘りませず、「天橋立の次代に引き継ごう」天橋立名松リバーズ実行委員会の取り組みについて「」をテーマにご講演賜り、ますます心より厚く御礼申し上げます。

二〇〇四年の台風23号により甚大な被害をこうむった天橋立の「名松」を蘇らせるため、「名松リバーズ」を台言葉にした精力的な取り組みは、日本三景 天橋立を愛する多くの人々に、深い感銘を与えるものと存じます。また、地域の枠を超えたネットワーキング作りや、環境問題を意識された自然との共生の取り組みなど、今後の展望もお聞かせいただき、参加者一同大変参考となり、誠に有意義な講演会となりました。

ここに過日のご厚情に対し、甚だ略儀ながら、書中をもって御礼申し上げますとともに、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

未筆ではございますが、貴委員会のご発展をお祈り申し上げます。

平成十八年六月二十三日

京都商工会議所
専務理事 小堀 信

■天橋立名松リバース実行委員会が

新世紀かがやき交流賞を受賞

6月19日（月）

京都府民ホールで開催された京都府開庁記念日に、私達 天橋立名松リバース実行委員会が

「新世紀かがやき交流賞」を受賞しました。

当日、幾世委員長・中井・細井・西川・松井各副委員長が参列し、京都府山田知事から表彰を受けました。



これも偏に、一昨年10月20日の台風襲来後、今日まで約一年半、一生懸命に「木は倒れても生きている」「松の悲鳴をよるこびに」との思いで取り組んできていただいた、多くのリバース実行委員会のみなさんのお陰と、心より感謝いたしますと共に、ご報告申し上げます。この受賞を機に、より一層リバース活動に取り組ましましょう。

2006年6月17日 京都新聞掲載(縮小)

倒木松生かし菩薩像制作

19日に府交流賞表彰

南丹・京都伝統工芸校生ら輝く

京都伝統工芸専門学校（南丹市園部町）の学生たちが一昨年の台風23号で倒れた天橋立（宮津市）の松を生かして文殊菩薩像を制作し、地元の智恩寺（同市）に奉納し



完成した文殊菩薩像を見つめる学生ら（今年4月、南丹市園部町小山東町・京都伝統工芸専門学校）

た取り組みが、本年度の「新世紀かがやき交流賞」に決まった。

十九日、府立府民ホール（京都市上京区）で行われる府開庁記念日記念式典で表彰されることになり、本年度は七団体の受賞が決まった。

同校の取り組みは、倒木を文殊菩薩像として再生する取り組みを通して人々に安らぎや感動を与え、天橋立を愛する人々の交流に貢献した」と評価された。倒木松の再生活動を企画した宮津市民有志の「天橋立名松リバ

表彰状

新世紀かがやき交流賞

天橋立名松

リバース実行委員会様

貴団体は平成十六年の台風第二十三号により被害を受けた天橋立の松を再生する取組を通じて、松の香り漂うまちづくりや天橋立を愛する人々の交流に大きく貢献されました。京都府開庁記念日に当たりその活動をたたえ新世紀にかがやきさらに大きく飛翔されることを期待してこれを表彰します。

平成十八年六月十九日

京都府知事 山田啓二



「ス実行委」（幾世淳紀委員長）とともに受賞することになった。

文殊菩薩像は高さ二・五尺、奥行き一・六尺。学生たちは、現地で松の材料探しから始め、授業時間のほか、放課後や冬休みを利用して、昨年九月から今年三月まで半年余りをかけて伝統技法の寄木造りで制作。五月十四日に智恩寺に奉納した。

制作に取り組んだ同校仏像彫刻専攻二年の江田さおりさん（三）は「松は固く、作業は大変だったが、こんな機会を与えてもらった多くの人に感謝したい。文殊菩薩像が地域でいつまでも大切にされればうれしい」と話している。

■ 7月7日(金)
与謝野 寛・晶子ご夫妻の歌碑完成

天橋立の財産がまた一つ誕生



最終の打ち合わせ

奇しくも一年に一度、織姫と彦星が出会うという7月7日の七夕の日に、与謝野寛・晶子ご夫妻の歌碑の除幕式が、天橋立の「智慧の松」付近の会場で午後4時より執り行われました。

天橋立は与謝野晶子が昭和15年に最後に旅した地であり、また、寛・晶子ご夫妻が何度

も訪れた地でもあります。今般、地元の方々の熱い気持ちにより、多くの浄財をいただいたいて、横4丘、奥行き3丘、高さ2丘の自然石に黒御影石をはめ込んだ見事な歌碑が建立されました。

小雨はれ

みどりとおけの虹ながる

与謝の細江の
朝のよそ波

寛

人おして

回旋橋のひらく時
くる雲うごく

天の橋立

晶子

右記のご夫妻各々の歌が刻まれましたが、この歌は昭和5年にご夫妻で天橋立を訪問された時に詠まれたものです。



多くの参列者が見守る中執り行われました



歌碑の説明には、天橋立の倒木松が使われました



黒御影石に刻まれました



いよいよお披露目



森 天橋立を守る会長の挨拶

生を初め、多くのご来賓のみなさまや奥田丹後広域振興局長、7月に誕生された新しい井上宮津市長など行政関係者のみなさんの参加により華やかに除幕され、歌碑の建立を喜び合いました。

天橋立にまた一つ、大きな財産が誕生したことを誇りに思います。

午後7時30分からは、みやづ歴史の館に会場を移して記念シンポジウムが開催されました。

天橋立を守る会 森輝吉会長の歌碑完成の喜びの挨拶でシンポジウムがはじまり、難波利三先生の記念講演、同志社大学文学部名誉教授廣川勝美文学博士の基調講演と続き、今回の歌碑建立に多大なご尽力をいただいた前丹後歌人协会会长の大槻美都先生と与謝野町立生涯学習センター知遊館館長 糸井範子先生によるリレートークと、非常に充実した内容でした。

約200人ほどの来場者のみなさんも、時間が経つのを忘れ熱心に各先生のお話に聞き入っておられました。

天橋立名松リバース実行委員会もこの事業を後援し、改めて天橋立が持つ文化的側面を認識、今後の活動の一助になり得たと思えますし、この歌碑が地域の大きな財産として訪れるみなさんの心の琴線に触れることを願うものです。

※尚、この歌碑の木製説明文に台風で倒れた天橋立の松材が利用されています。



難波先生ご夫妻



歌碑建立記念シンポジウム



同夜 みやづ歴史の館 於



大槻美都先生



宮津市 井上正嗣市長



難波利三先生

当日は地元の歌碑建設発起人会の方々のほか、直木寅作家であり与謝野晶子倶楽部会長の難波利三先

日本三景・天橋立(宮津市)とのゆかりが深い歌人の与謝野寛(鉄幹)・晶子夫妻の歌碑が完成し、7日、建立地の天橋立公園で除幕式が行われた。発起人らが夫妻をしのび、文人墨客に愛された天橋立を次代に受け継ぐ決意を新たにした。

天橋立ゆかりの短歌105首



ゆかりある天橋立に建立された与謝野寛・晶子夫妻の歌碑(宮津市・天橋立公園)

寛・晶子夫妻は、一九三〇年に天橋立を訪れて以降、同地に関連する短歌百五首を残した。寛の死後、晶子が吟遊の旅で最後に訪れた場所が天橋立だった縁もあり、「橋立に思いを寄せた夫妻の歌碑をよみがえらせよう」と、地元の人や「天橋立を守る会」などが建立発起人会を結成。地元住民らに寄付を募ったところ、約三百五十人から計約二百万円

「守る会」など 次世代継承誓う

与謝野夫妻をしのび歌碑

が寄せられ、建立が実現した。花こう岩の土台に御影石がはめ込まれた歌碑には、寛の「小雨はれみどり」とあけの虹ながる 与謝の細江の 朝のささ波」と晶子の「人おして 回旋橋のひらく 時 ころ雲うつく 天の橋立」の歌が刻まれている。

歌人、与謝野晶子と夫鉄幹の歌碑 天橋立に2体建立



天橋立に建立された与謝野晶子と鉄幹の歌碑
—宮津市で

明治、昭和期を代表する歌人、与謝野晶子と夫鉄幹(寛)の歌碑が宮津市の天橋立に建立され、7日、除幕式が行われた。鉄幹の父、礼蔵が旧与謝郡温江村(現在の与謝野町温江)出身であることが縁で、晶子と鉄幹も時折、丹後地方を訪れ、天橋立や大江山神峰、加悦谷平野などを題材にした短歌を残している。歌碑は晶子、鉄幹夫婦と丹後とのかかわりを広く知ってもらおうと、天橋立を守る会(森輝吉会長)などが建立準備を進

めてきた。

大天橋近くの松並木沿いに、自然石に黒御影石をはめ込んだ2体を建立。高さ約1・3メートル、幅約1メートル、厚さ約0・5メートルの「男石」には、鉄幹の「小雨はれ みどり」とあけの虹ながる 与謝の細江の 朝のささ波」、高さ約1メートル、幅約0・8メートル、厚さ約0・5メートルの「女石」には、晶子の「人おして 回旋橋の ひらく 時 ころ雲うつく 天の橋立」の歌がそれぞれ刻まれている。

【瓜生貴二】

鉄幹・晶子の歌碑を除幕

天橋立 夫婦吟遊の地、建立祝う



近代短歌の与謝野鉄幹(本名・寛)と晶子夫妻の歌碑が宮津市の天橋立に

完成し、7日に除幕式があった。写真、歌碑建立の歌碑が宮津市の天橋立に

の直筆を彫り込んだ。除幕式で天橋立を守る会の森輝吉会長は「天橋立の名物の一つ増え、名所の厚みを増した」とあいさつ。歌碑建立を記念して同夜開かれたシンポジウムで、鉄幹の父が与謝野町加悦の出身という丹後ゆかりの歌人が天橋立を詠んだ歌碑の建立を祝った。完成した歌碑は天橋立公園の松並木の散策路沿い。自然石に黒御影石をはめ込み、鉄幹の「小雨はれみどり」とあけの虹ながる。与謝野の細江の朝のさざ波」と、晶子の「一人おして回廊橋のひらく時くる雲うごく天の橋立」という1930年5月に夫婦で訪れ、天橋立を詠んだ歌

天橋立に与謝野夫妻の歌碑

丹後ゆかりの歌人、与謝野晶子最後の吟遊の地、天橋立に、夫で歌人の鉄幹との



た。歌碑は、地元の「天橋立を守る会」(森輝吉会長)などが建立。黒御影石をはめ込んだ男石(高さ約1・3メートル、幅約1

除幕式に孫の大臣も祝電

には、鉄幹の「小雨はれみどり」とあけの虹ながる。与謝野の細江の朝のさざ波」と、女石(高さ約1

天橋立に初めて建立され除幕された与謝野夫妻の歌碑。宮津市

宮津市の隣町の与謝野が、多忙のため実現できず、「関係者のみなさんの努力に心から敬意を表します」などと祝電を寄せた。歌人の大根美都さんは「」で毎年、歌の会を催して与謝野夫妻



天橋立に建立された与謝野夫妻の歌碑

与謝野夫妻の歌碑 天橋立に建立 廻旋橋詠んだ作刻む

歌人の与謝野鉄幹、晶子夫妻が天橋立の地で詠んだ歌を刻んだ歌碑が宮津市・天橋立の廻旋橋北側に建立され、7日、除幕式が行われた。建立は市民ら354人の寄付金約200万円で実現。発起人ら約1000人が式に出席し、完成を祝った。

歌碑は、自然石の土台(高さ約0・6メートル、横4メートル)にはめ込んだ黒御影石製。鉄幹の本名の寛と記した石板(高さ90センチ、横60センチ、厚さ5センチ)と、晶子に記した石板(高さ約60センチ、横約70センチ、厚さ4センチ)が隣同士に並んでいる。与謝野夫妻は丹後地方を

市民らの寄付で実現

歌碑は、自然石の土台(高さ約0・6メートル、横4メートル)にはめ込んだ黒御影石製。鉄幹の本名の寛と記した石板(高さ90センチ、横60センチ、厚さ5センチ)と、晶子に記した石板(高さ約60センチ、横約70センチ、厚さ4センチ)が隣同士に並んでいる。与謝野夫妻は丹後地方を

のひびく時
くろ雲つこ
く 天の橋
立」と刻まれ
ている。

この日は、
発起人の一人
で、宮津市文

珠の歌人・大槻美都さん(88)らが除幕。大槻さんは「立派に出来たと感謝している。毎年ここで歌会を開き、夫妻の心が永久に残りまわすようにお願い、晶子の研究を続けている、与謝野晶子倶楽部(堺市)の作家難波利三会長は、寛と晶子そろっての歌碑は、全国でも天橋立だけだと思っ。多くの観光客に愛されてほしい」と話していた。

天橋立には、昭和天皇の歌碑や与謝野村の句碑もある。

特報

今回の「与謝野寛・晶子ご夫妻の歌碑建立」の記念シンポジウムで、「与謝野晶子倶楽部」会長・作家 難波利三先生が基調講演された中で、ご夫妻の末娘 森藤子さまのお話をされましたが、その後、難波利三先生の特別のお計らいで、森藤子さまが今秋(予定)天橋立の歌碑をご覧に来橋されることになりました。難波先生、特別のご配慮ありがとうございました。又、「森藤子さんに、是非 天橋立にお越しいただけたら…」との井上宮津市長の心のこもったメッセージも、森藤子さんの心に伝わったことをご報告しておきます。今秋が、今から楽しみですネ!

7月12日(水)
北大視察・交流

「昨年9月の台風18号で倒れたポプラ並木の再生と、倒れたポプラの木材を使って製作されたチェンパロの演奏会を企画している北大を訪ね、交流してきました。北大は3回目の訪問になりますが、新しく赴任された青木満里総務部広報課長と早坂孝一課長補佐が対応してくれました。北大交流プラザ「エルムの森」には、「北大ポプラ並木がとりもつ北大と天橋立名松との縁」と書かれたコーナーがあり、名松リバーズのことを紹介されています。今年9月のチェンパロ演奏会には、招待しますので是非来てくださいとおっしゃっていただきました。



北大交流プラザ「エルムの森」で、リバーズの紹介



ポプラ材の作品

7月21日(金)
第21回 名松リバーズ実行委員会 開催

7月21日、天橋立駅2階で、第21回リバーズ実行委員会を開催しました。議題は、①天橋立名松リバーズ実行委員会と天橋立を守る会との発展的統合NPO化②今秋予定の名松リバーズ作品展③基金④松の根っこ処理の件、等々でした。当日、関西テレビの小山ディレクター、制作部の原さんも出席され、8月8日「めぐまレテレビ取材」への協力依頼も受けました。メンバーのみなさんから積極的な意見、アイデアが出され、熱っぽい会議となりました。「10年後の私と僕へのメッセージ」も松でつくる「や、作品展の内容の詰めなど制作部会に一任し、次回の実行委員会で決めることにしました。



第21回 リバーズ実行委員会

※当日、京大 村形明子名誉教授がリバーズ館を訪問され交流しましたが、リバーズに強い関心を持たれました。その後、京都市長さんに天橋立の倒木松を有効利用するよう進言された旨、連絡をいただきました。

次回は、8月21日(月)PM1時30分
天橋立駅2階 会議室で開催します。
多くの方の出席をお願いします。

7月19日(水)

京都伝統工芸専門学校のみなさん(26名)
須藤教授引率の下、松材搬出のため来橋

7月19日(水)、「天橋立名松・文殊菩薩」を制作していただいた京都伝統工芸専門学校の新入生のみなさんが大挙、バス1台で来橋され、リバーズ館見学の後、先輩が制作された「名松・文殊菩薩」を見学、そして松材を搬出されました。来年に向けて新しい作品を製作される予定です。引率された須藤教授は「今回、文殊菩薩を制作した学生(今は2年生)たちは、木が硬い、ヤニが出る等々、いろんな困難に立ち向かい共同製作するよるこびを学んだと思います。従って、個人も技を磨くと共にまとまりもよくなったと思います。今回は新入生ですが、いろいろと経験し学んでくれると思います」とおっしゃっていただきましたのが印象に残ります。須藤教授に松の根っこの作品化についてお願いを申し上げたところ、「9月中旬に一日かけて現地処理、搬出にきます」とのご返事をいただきました。須藤教授を初め、新入生みなさんに心より感謝申し上げます。今から作品ができるのが楽しみです。



リバーズ館見学



先輩の作品「文殊菩薩」にみなさん感動!



みんなで松材を搬出

知得北海道

ポプラ再生の響き

●9月北大で演奏会
北大は9月8日午後6時30分から同大クラーク会館で、2004年9月の台風18号で倒れた同大ポプラ並木の木材を使って製作されたチェンパロの演奏会を開く。
埼玉真在住のチェンパロ奏者水永牧子さんが、バッハのフランス組曲第5番や、寮歌「都ぞ弥生」など北大にまつわる曲を演奏する。
入場無料。希望者は往復はがきに名前、住所、電話番号を記入、20日から8月10日(消印有効)までの間に「0660・0808 札幌市北区北8西5、北大総務部広報課」へ。定員350人で先着順。8月14日以降に、入場の可否を本人に通知する。詳細は同課「011・706・2610」へ。

6月21日(水曜日)

文 化

の古の大志 札幌の地に
はぐくまれ 二〇〇四年
嵐によって倒れ、二〇
〇六年 ここに上みがえ
る」と刻んだ。お分かり
いただけたらどうか。

一昨年九月、台風18号
の暴風によって、北海道
大学の有名なポプラ並
木、五十一本中二十七本
が根こそぎ倒れたり傾い
たりした。この倒木ポプ
ラで製作したチェンバロ
なのだ。

の寧井教授に、チェンバ
ロの製作を提案したの
が、北海道教育大旭川校
の市川信一郎教授(音楽
学)だ。ポプラは軽く弱
い傾向の材だが、昔は歌
謡があったのは、倒木直

必要だ。それも丸太の樹
皮に近い部分や芯部をよ
けて、木目が通った丈夫
で安定した正圓の板をと
りたい。

川の家裏で有名な木材会
社が、通常の二倍以上の
手間をかけて丁寧に乾燥
をほどこしてくれた。こ
うして仕上がった材木は
しまりがあって、軽く、
思いのほか上質なものと
なった。最初の印象から
考えれば、奇跡的であっ
た。

チェンバロにはいくつ
かの種類があるが、考え
た末にイタリア様式を選
んだ。決して主流のタイ
プではないのだが、この
由緒ある材を木地で生か
して、しかも幅広い曲を
演奏できるのはこれだと
判断した。

製作には昨秋から今春
まで約半年間かかった。
音はもちろん、木目の見
え方など、姿も美しく仕
上げようと腐心した。ま
たチェンバロの脚と演奏
用のイスは、旭川の家具
工房が、名高い北大のハ
ルニレ、それも同じ台風

完成を間近に控えたチ
ェンバロが今、目の前に
ある。あじは塗装装飾と、
音を整える最終的な仕上
げの作業を残すのみだ。

私は埼玉県滑川町の丘陵
地帯に、このピアノの原
型である古楽器、チェン
バロの製作工房を構えて
いる。三十年ほど続けて
きた仕事の中でも、この
楽器は少々特別だ。

札幌市民
をはじめ多
くの人の愛
されていた
並木。再生
を目標す作
業と倒木の
利用は、北
大大学院農
学研究所の
平井卓郎教
授らが進め
ていた。そ

後の十月のこと。最初は
できるかどうか、半信半
疑だった。一般に山では
なく里で成長した木は枝
が多く節がでるため、
楽器には不向きとされて
いる。

チェンバロは大きな楽
器なので、必要な材料も
大きい。中でも幅約二十
五センチ、長さ二・五メートル
の節の無い板が、一台に
つき備板用に最低二枚は

「Boys be ambition
」(少年よ、大志を抱け
！)とは、北大の前身
である札幌農学校のクラ

による倒木で作ってくれ
た。
五月下旬「うぶ声コン
サート」と題して、チェ
ンバロのテストを兼ね、
工房のある滑川町に隣接
する東松山市で仮のお披
露目をした。広く告知し
たわけではないのに、北
大出身の方が十数人も会
場に聴きにいらしたのに
は驚いた。チェンバロは
湿度に弱い楽器だが、天
も祝ってくれたのか、降
り続いてきた雨がコンサ
ート開始直前にぴたりと
やんだ。

大きな志を未来へ
演奏者はチェンバリス
トの水永牧子さん。彼女
の高祖父、大島正健氏は
なんと札幌農学校の第一
期生。しかもクラーク博
士の言葉を書きとめ「少
年よ、大志を抱け」と翻
訳したその人だという。
北大で九月に予定してい

倒木ポプラでチェンバロ

◇北大の並木利用、「大志を抱け」訳者の子孫が演奏会◇

横田 誠 三



完成間近のチェンバロと筆者

チェンバロは大きな楽
器なので、必要な材料も
大きい。中でも幅約二十
五センチ、長さ二・五メートル
の節の無い板が、一台に
つき備板用に最低二枚は

丁寧な仕事に感謝
「Boys be ambition
」(少年よ、大志を抱け
！)とは、北大の前身
である札幌農学校のクラ

による倒木で作ってくれ
た。
五月下旬「うぶ声コン
サート」と題して、チェ
ンバロのテストを兼ね、
工房のある滑川町に隣接
する東松山市で仮のお披
露目をした。広く告知し
たわけではないのに、北
大出身の方が十数人も会
場に聴きにいらしたのに
は驚いた。チェンバロは
湿度に弱い楽器だが、天
も祝ってくれたのか、降
り続いてきた雨がコンサ
ート開始直前にぴたりと
やんだ。

大きな志を未来へ
演奏者はチェンバリス
トの水永牧子さん。彼女
の高祖父、大島正健氏は
なんと札幌農学校の第一
期生。しかもクラーク博
士の言葉を書きとめ「少
年よ、大志を抱け」と翻
訳したその人だという。
北大で九月に予定してい

る正式なお披露目演奏会
も、もちろん水永さんの
演奏。ポプラ並木の再生
を記念した演奏会が札幌
と旭川で開かれる。
こうして倒木ポプラは
チェンバロとして再生
し、北海道に甦る。今、
北大にポプラ並木から育
てた苗木を分けていただ
けないかとお願ひしてい
る。私の暮らす滑川町に
植えて、新たな並木を作
りたいと思うのだ。年を
経て、地元の子供たちが
このポプラから、夢や希
望を感じ取ってくれない
だろうか。
チェンバロも、年を経
るとしだいに成熟して、
音が良くなっていく。滑
川町のポプラと楽器、両
方の成長を見つめなが
ら、抱かれた大きな志を
未来へ向けて受け継いで
いきたいと思う。(よきこ
た・せいぞろーチェンバ
ロ製作者)

7月26日(水)と27日(木)
旅館組合青年部が、倒木松を使って
夏休み「子ども工作教室」を開催



子ども木工教室を開催して

宮津天橋立観光旅館協同組合 青年部より

今回7月26・27日に「子ども木工教室」を開催させていただきました。この企画は台風23号によって倒れた松材「いのち」を吹き込もう!という事で、通常は使えない天橋立の松材を使用させていただく絶好の機会に恵まれ、実施の運びとなりました。

観光に見えた皆さんは、興味津々リパース館にやってきました。松の再生事業のこれまでの活動に感心されていました。それで普段は絶対使用できない天橋立の松材を使うことに感激され思い思いの作品をつくられていました。地元の方は新聞を見られて多くお越し頂きました。子どもさんには天橋立の松を使える意義についてお話し、皆熱心に聞き入っていました。

いろんな親子さんや、お子さんに参加していただきました。壁掛け時計を作る時は先ず好きな松材を選び、人によつては縦に、横に、好きな向きで作ります。シンブルに時計だけをつくる子もあれば、文字盤を自分流にアレンジする子、時計を横に備え付け、空いたスペースに思い思いの絵を描く子など。

大人ならあれこれ考えて躊躇しそうなところを大目に芸術家のように一つの作品に仕上げてしまう子など、様々で大変興味深いです。子どもに格好良いところを見せようとはりきつていたお父さんもありました。参加される方もさることながら我々青年部も一緒に製作に参加することによって、台風で倒れた松材のちを吹き込むよるこびを感じさせていただきました。また楽しませていただいたように感じます。

次回は8月25日(金)と26日(土)の午前10時から午後4時までリパース館にて開催いたします。どうぞ、皆様もご家族で参加して下さい。



真剣な表情のちびっこ芸術家たち



見て 見て! できたヨ!



創作部会より

京丹後市久美浜町在住の「久美浜木工クラブ」山下忠彦さまから、倒木した天橋立の松材を利用して削っていたいただきました。今後もいろいろ作品にチャレンジされるの事です。今後の作品も期待していただきます。ありがとうございます。



天橋立文珠繁栄会が、
倒木松を使ってフランチーカーバーを
100個製作 文珠地区の各所に設置

倒木した天橋立の松材に、いろいろと新しい命が吹き込まれ次々と活用されていますが、このたび文珠地区の町なかにフランチーカーとして登場しました。「松の香りただよう町づくり」へ一歩も二歩も歩み出した感じがします。本当に嬉しいことです。



籠神社の入りに立派な
天橋立名松リパースの看板が登場

このたび、丹後一宮元伊勢 籠神社さんの手で、立派な「カラー」リパース看板が設置されました。「多くの方に名松リパース活動を理解してほしい」との思いで設置されたのですが、本当に訪れる多くの方に理解していただくという事です。籠神社さん、ありがとうございました。



特報

このたび、天橋立名松リパース実行委員会の相談役 小田彰彦氏が、宮津市議会の議長に就任されました。心よりお祝い申し上げますと共に、益々のご活躍をお祈りいたしております。

天橋立の倒木松を使い、オリジナルの作品作りに挑戦する子どもたち(宮津市文珠・天橋立名松リバース館)



壁掛け時計、花瓶台できたよ

天橋立の倒木松使い 子ら工作に挑む

宮津で教室

宮津市文珠の天橋立名松リバース館で二十一日、「子ども工作教室」が行われた。子どもたちが天橋立の倒木松を利用した壁掛け時計や花瓶台などを作り、夏休みの思い出づくりを楽しんだ。同館は、地元の「天橋立名松リバース実行委員会」が昨年五月に開設。前年の台風23号で倒れた松を使ったアート作品などを展示している。

子ども教室は、宮津天橋立観光旅館協同組合青年部(兼谷哲部長)が、貴重な天橋立の松に親しんでもらおうと、同会の協力を得て企画した。同館を訪れた子どもたちは、直径約二十五センチ、厚さ約三センチの円形の松を使い、オリジナルの壁掛け時計作りに挑戦。中央に掘った穴に小型の時計をはめ込んだ後、絵の具で数字を書いたり、周りに好きなキャラクターを描くなどして、作品作りに熱中した。工作教室は二十七日

と、八月二十五日、二十六日にも行われる。午前十時～午後四時。予約不要で、材料費が必要。



天橋立で倒れた松を使い、裏千家淡交会宮津支部が製作を進めているお干菓子盆

倒木松、茶の世界に

裏千家淡交会
宮津支部 菓子盆作り着々

丹後地方を拠点とする裏千家淡交会宮津支部が、一昨年の台風23号で倒れた天橋立の松を使った「お干菓子盆」作りを進めている。支部がこ

茶道の世界に生かしたい」と企画した。

し創立六十周年を迎える記念に、「年輪を重ねた松が持つ魅力を、悠久の

同支部(小牧誠一郎支部長)は一九四六年に発足し、会員数は約三百五十人。会員の一人が「台風でなぎ倒された松のかなしみを喜びに変えた」と提案し、地元の天

橋立名松リバース実行委の協力を得て実現した。お干菓子盆は直径二十二センチ。地元の木彫り職人に製作を依頼し、八月までに五百個を製作する。これまでに完成した盆にふれた会員からは「表面に出た年輪の形がそれぞれ異なり、趣がある」などと好評という。同支部は「盆を通して、松が生きた歳月を語り継いでいきたい」としている。

お干菓子盆は、九月に鴨雲斎千玄室前家元を招いて宮津市内で開く記念式典で、記念品として会員らに配られる。

● 市民からの便り

前略、お許し下さいませ。
先日は、無事に善薩御奉納式も終えられました御由、まことにおめでとうございました。
ご丁寧にご案内頂戴していただきましたが、生憎当日都合が悪くて出席させていただけず、残念でございました。テレビとか新聞で様子を拝見し、本当に地道なご努力が一つづつ実を結び、蘇った名松の賑々が、それぞれの役割を再び果たしてゆくことへの尊さを感じております。今後共、いつそらのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

● リバース館 来訪者の声

・九州より帰郷の際に立ち寄り、以前にTV放送で見たものを確認出来ました。
頑張レ 名松リバース

男62才さま

・大阪から来ました。木のおい最高!!
楽しかった!!

・モデルベンチをビューランドに下さい。
遊園課さま

・昨年の11月頃、天の橋立に来て倒木を見て悲しい思いをしました。今年も奇して頂いて、この倒木のリサイクルを見せて頂き、感極まる思いで一杯です。殺伐とした時代に、まだ世の中は捨てたものじゃないですね。天の橋立名松リバースの方に敬意を表します。

大阪市 女性

・松の木も ほろり
嬉しくて ほろり
私も ほろり
次世代の松のみどり
長生きして 見るからね
仲良くしてくれね 松
有りがとう
生きがとう 松
良かつたね



■ 京都市都信用金庫(細見善彦理事長)さんが 各支店に名松リバースの

基金箱を設置 (予定)

7月19日(水)幾世委員長・稲葉副委員長が京都北都信用金庫本店を訪ね、リバース報告をすると共に、今後の協力をお願いしました。早速、細見理事長は、リバースポスターの作成・各支店に名松リバース基金箱を設置するなど積極的に支援していく旨お話をしていただけでした。

細見理事長を初め、京都北都信用金庫のみなさん、本当に



天橋立名松リバース基金 「協賛ありがとうございました」



2006年
4~7月分

- ・京都府南丹市 一市民さま 一万円
- ・宮津ロータリークラブさま 四万六千円
- ・宮津ライオンズクラブさま (中間報告書) 三万五千元
- ・京都商工会議所さま (中間報告書) 二万九千元
- ・丹後歌人会 会長 中西夏江さま 一万円
- ・与謝野寛・晶子夫妻 歌碑建立記念シンポジウム会場にて (中間報告書) 一万参千円
- ・和宮コンサート会場にて (中間報告書) 一万円
- ・天橋立ホテルさま (中間報告書) 五万円
- ・文珠さま (中間報告書) 五万円
- ・宮津ロイヤルホテルさま (中間報告書) 十万円
- ・名松文殊善薩奉納式 ご祝儀 一万五千元
- ・ベンチ設置協力金 (松材提供料) 二万円
- ・イエズス教会 七万円
- ・天橋立を守る会さま 助成金 十五万円
- ・歌碑設置協力金 (松材提供料) 一万円
- ・創作部会 田中功さま (中間報告書) 二万五千元
- ・リバース基金箱より
 - 4月~5月分 壹万参千二百七拾円
 - 6月~7月分 七千六拾八円

合計 六拾六万参千参百参拾八円

■ 編集後記 ■

相変わらず異常気象が続いています。7月に入つての記録的な豪雨とそれによる水害は、京丹後市を初め日本各地に大変な被害をもたらしました。被災されたみなさんに、心よりお見舞いを申し上げます。待ち遠しかった梅雨もようやく明け、やつと本来の夏らしい天気となりました。先日、7月26日・27日両日、宮津天橋立の旅館の若い人たちが、倒れた松材を使って「工作教室」をリバース館で催してくれましたが、大盛況でした。若い人たちが、リバースを自分の問題として一生懸命に取り組んでくれる姿を見て、本当に嬉しく思いました。リバースも、今後は若い人たちを中心に展開されていくと頼もしく、又、心強く思いました。旅館の青年部のみなさん、ご苦勞さまでした。次回の8月25日・26日も、よろしくお願ひします。

6月19日、京都府山田知事さんより、天橋立名松リバース実行委員会に「新世紀かがやき交流賞」をいただきました。これも偏に、台風襲来直後から、この一年半余り一生懸命取り組んでいただいたリバースメンバーのみなさんのお陰です。これを弾みにして、今後共「リバース宣言」の精神に従い、みんなが楽しく頑張ります。いろいろと多忙なことがあり「天橋立名松リバースだより」の発刊が少し遅れました。でも、その分、読み応えのあるリバースだよりとなりましたネ。(ポイント・カナア?)



熱波、海水減少…

ハリケーン激化も？

異常気象は温暖化原因

人間活動が影響

IPCC初指摘

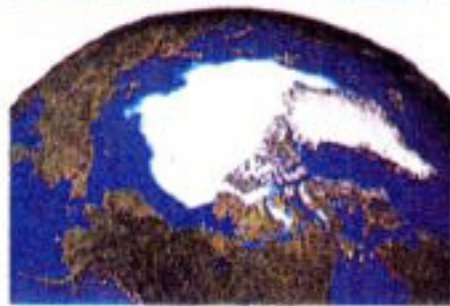
近年の熱波などの異常気象や北極の水の減少が、人間活動による地球温暖化が原因で起こっている可能性があることを初めて指摘した国連の「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の第一作業部会の第四次報告書の原案が三十日、明らかになった。

温暖化の世界的な専門家で組織するIPCCは、報告書は、各国政府が温暖化対策を進める上での基礎となる。IPCCは異常気象と人為的温暖化との関連について、これまでより踏み込んだ姿勢を示した。今後の国際的な温暖化対策の議論に大

きな影響を与えることになり、さらさらな影響が既に表れ始めていることを示した。また、過去五十年間の気温上昇のほとんどは、大気中の温室効果ガスの増加が原因である「可能性が非常に高い」とするなど、二〇一一年の第三次報告書に比べ、人間活動と気温上昇との

関係についてもより明確にした。今世紀末に予測される気温上昇は一九八〇―二〇一〇年の平均気温に比べ一・五―五・八度と従来の予測とほとんど変わらないが、温室効果ガスの排出量が多く、人口増加も続いた場合、今世紀末には北極の水が無くなるほか、永久凍土の表面の90%が解ける恐れがあると指摘。さらに、今後温暖化が進んだ場合、台風やハリケーンなどの熱帯性低気圧に伴う風や雨が強くなる可能性があることに言及。実際の観測でも七〇年以降、同様の傾向が出ているとした。IPCCは今後、各国の政府や専門家の意見を

開いた上で報告書案を修正。ほかの二つの作業部会の報告書とともに、来年、第四次の統合報告書をまとめる。



事務局 日誌

平成18年

4月1日(土)

KB S京都放送 生中継 (deちゆう) 機世実行委員 (兼松公園)

2日(日)

第31回 クリーンはしだて一人一坪大作戦

5日(水)

第18回 天橋立名松リバーズ実行委員会

16日(日)

木曾福島(長野県) 訪問 木曾福島の検と交流 機世実行委員

18日(火)

宮津ロータリークラブ例会にて講演 機世実行委員

21日(金)

旅フェア2006 パネル展示 (千葉市 幕張メッセ)

23日(日)

第一回 奉納式打ち合わせ会

28日(金)

フタメンコ concert de baile Flamenco ~SENTIDO~ 京都府立文化芸術会館

5月3日(火)

京都伝統工芸専門学校にて講演 機世実行委員 (園部)

9日(火)

第2回 奉納式 最終打ち合わせ会

14日(日)

第19回 天橋立名松リバーズ実行委員会

18日(木)

「文殊菩薩」像 開眼供養 (密恩寺) 協力/裏千家談交会宮津支部

18日(木)

宮津ライオンズクラブ例会にて講演 細井ピシモン部会

21日(日)

屋久島訪問 王子江氏 機世実行委員 松井部会 他

26日(金)

第7回 京都観光ブランド推進研究会

6月5日(月)

和器コンサートにて 中間報告書販売

13日(火)

平成18年度 天橋立を守る会 総会

16日(月)

第20回 天橋立名松リバーズ実行委員会

19日(月)

知事表参「新世紀かがやき交流館」授賞式 京都府民ホール

21日(水)

第2回 天橋立公園継承準備委員会 (仮称)

22日(木)

京都商工会議所 産業振興部のみなさま来橋 交流

7月7日(金)

与謝野寛・島子ご夫妻歌碑除幕式

12日(水)

歌碑建立記念シンポジウム みやび歴史の館

16日(日)

北海道大学視察交流 機世実行委員

18日(火)

正副部会長会議

19日(水)

(丹キヤン) 松材提供

21日(金)

京都伝統工芸専門学校 新入生 資材搬出

27日(木)

第21回 天橋立名松リバーズ実行委員会

26日(水)

関西テレビ 協力依頼 (めざましテレビ) と下見

31日(月)

「F」も木工教室「宮津天橋立観光館協同組合 青年部主催

正副部会長会議

松材下見 (製材業者)

8月2日(水)

府立農業大学 リバーズ館視察 (12名)

7日(月)

フジテレビ・関西テレビ「めざましテレビ」編成 府中公民館

8日(火)

フジテレビ・関西テレビ「めざましテレビ」リハーサル

25日(金)

フジテレビ・関西テレビ「めざましテレビ」生放送(田崎子定)

26日(土)

「F」も木工教室「宮津天橋立観光館協同組合 青年部主催

～めざましテレビ(フジテレビ全国28局ネット)～
(毎週月曜日から土曜日、午前5時25分～8時まで生放送)

生中継決定! 8月8日(火) 午前7時22分頃～8時頃予定

是非、ご覧になってください。